

2025年度「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」自己点検評価・報告書

2025年度における本学の「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」について、文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」（リテラシーレベル）の取り組みに係る自己点検・評価結果を報告する。なお、評価については下記の学修成果を到達目標として行う。

「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の学修成果

「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」では、これからの社会が求める次の能力を身に付けることを目標とする。これは①新しい価値の創造に主体的に関わる力、②AI 情報リテラシー力、③情報活用能力である。また、次の3点を学修成果としている。

1. 数理・データサイエンスやAIについての基礎的知識を修得し、さらにこれらを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付ける。
2. 現代における数理・データサイエンス・AIの役割について理解して、説明できる。
3. 数理・データサイエンスやAIを利活用する際の留意すべき事項（個人情報、データ倫理など）を理解して、説明できる。

・評価日：2026年3月30日（月）

・評価組織：全学AI教育推進会議（専門部会）

・評価対象：2025年度後期「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を構成する「AI活用入門A」、「AI活用入門B」、「AI入門演習」の3科目。

自己点検・評価の視点	取り組みと評価
1. プログラムの履修・修得状況	<p>「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」は令和5（2023）年度から開始され、令和5（2023）年度における科目履修者は延べ205名であった。また、プログラム修了条件となる「AI活用入門A」および「AI活用入門B」の両方を履修した学生は17名であり、プログラム履修率は9.04%であった。これは、プログラム開講直後であり、学生への周知が十分ではなかったためであると考えられる。また、これら両科目の合格者は、16名であり、修了率94.11%であった。</p> <p>令和6（2024）年度は、「AI活用入門A」が3クラス、履修者数は計302名、「AI活用入門B」が3クラス、履修者数は計355名、合計657名であった（付表1参照）。また、プログラム修了条件となる「AI活用入門A」および「AI活用入門B」の両方を履修した学生数は232名であり、プログラム履修率は54.59%であった。また、この両方の科目の合格者は146名であり、修了率は62.93%であった。各クラスの成績については、付表2参照。</p> <p>令和7（2025）年度は、「AI活用入門A」が3クラス、履修者数は計182名、「AI活用入門B」が3クラス、履修者数は計169名、そして「AI入門演習」6名を加えて合計357名であった（付表1参照）。また、プログラム修了条件となる「AI活用入門A」および「AI活用入門B」の両方を履修した学生数は147名であり、プログラム履修率は70.00%であった。また、これら両科目の合格者は98名であり、修了率は66.67%であった（付表1,5参照）。各クラスの成績については、付表2を参照。修了率は少し上昇したが、まだ十分とは言えないので、さらなる向上に向けて取り組む必要がある。</p> <p>また、令和6（2024）年度に比べて令和7（2025）年度の履修者数が大きく減少した。今後、オリエンテーションなどを通じて、さらに周知徹底を図ってきたい。</p> <p>令和7（2025）年度には修了証発行プログラムを作成した。これにより修了証取得可能者の把握および修了証発行の効率化が進んだ。</p>

2. 学修成果	<p>学修成果の把握、可視化について、直接評価と間接評価をあわせて多面的に行っている。試験、提出課題、ルーブリック、授業評価等による総合評価（100点満点）により把握している。直接評価としては、試験や小テストを行っている。特にLMSであるOGU-Caddieを使用した小テストやレポートは「AI活用入門A」及び「AI活用入門B」において、毎回行っている。また間接評価としては、学生による授業評価とルーブリック評価を行っている。「AI入門演習」は少人数を前提とした実践中心の授業内容となっている。この特性を活かして、個々の学生の理解度を直接確認しながら演習を進めている。また、知識の定着と確認のため、毎回小テストもしくはレポートを課している。</p>
3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>学生アンケート（本学では授業評価という）は、「AI活用入門A」201クラスについてみると、授業評価における学生評価の平均は4.09であり、かなり高い値であるといえる。「AI活用入門B」201クラスも同様に学生評価の平均は4.31であり、かなり高い値であるといえる。次年度については、授業評価数を増加させ、学生の理解度測定の詳細化を図る（付表3参照）。</p>
4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>令和6（2024）年度より「AI活用入門B」の学生アンケートに、「後輩等他の学生への推奨度」を測定する項目を導入した。また、令和7（2025）年度より、「AI活用入門A」にも同項目を導入した。その結果、「あなたは、この授業を後輩や他の学生に推奨しますか」という問いに対し、「大変そう思う」または「ややそう思う」と回答した学生の割合は、「AI活用入門A」で75.59%、「AI活用入門B」で82.22%であった（付表4参照）。</p>
5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>全学的な履修者数、履修率の向上については、令和6（2024）年度より、「AI活用入門A」を3クラスに、「AI活用入門B」を3クラスに、合計6クラスへ増加した。これにより履修者数を5.62倍と大幅に増加させることができた。</p> <p>2024年8月に文部科学省から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」（リテラシーレベル）の認可を受けた。その結果、教務課より、「AI活用入門A」「AI活用入門B」「AI入門演習」の3科目を「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目・数理科目」へ追加申請を行いたく、25年度生以降において申請手続きを行ったので取り扱いが開始されることになった。」旨連絡があった。これにより教員志望者の受講増加が期待できる。</p> <p>令和8（2026）年度は、「AI活用入門A」及び「AI活用入門B」について、現行の3クラス体制から5クラス体制へ拡充する予定である。これにより、受講者数のさらなる増加が期待される。</p>
6. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>現在、教育プログラムが開始されて3年であり、修了者の進路、活躍状況、企業等の評価はできていない。今後、このプログラムを履修して修了証を取得した学生の卒業後の進路・就職状況を把握するシステムを構築する予定である。</p>
7. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>令和7（2025）年度「AI活用入門A」201～203クラスにおいて、令和7年度私立大学等経常費補助金特別補助（第1回調査分）「I. 成長力強化に貢献する質の高い教育」のうち、「4. 数理・データサイエンス・AI教育の充実（様式4）」における「I. 全学的な教育の実践と点検・評価・改善の実施」及び「A. 実践的な学修内容の全学的な開講」に対応する講義を行った。</p> <p>具体的には、2022年度後期「公務員入門」において吹田市行政経営部企画財政室総合計画グループが実施したアンケートの集計結果を教材として活用し、その分析方法について授業を行った。また、学生各自が実際の集計データを分析し、2025年11月19日（水）3講時の第6回授業において、分析結果のプレゼンテーションを行った。他の2クラスにおいても同様に、外部団体（国又は地方公共団体、他大学等〔自大学等を設置する法人が運営する他の大学等を除く〕、産業界等）における実課題や実データを活用し、データの加工・解析、推論、結果の共有・伝達に至るプロセスを実践した。</p> <p>また、「I. 全学的な教育の実践と点検・評価・改善の実施」のうち「D. 他大学等への普及活動」に対応する取り組みとして、2026年3月3日（火）に2025年度第3回FD・SD講演会を、教育開発支援センター・庶務課・教務事務室教務課の共催、ならびに数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム（近畿ブロック）の後援により、Zoomにて開催した。</p>

	<p>講演会では、「生成 AI 活用時代における OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの授業改善と展開」をテーマに、本学の授業設計・改善の取り組み成果を報告するとともに、数理・データサイエンス・AI 教育の実践事例として全国の大学等と共有した。当日は本学教職員のほか、13 大学から 21 名の参加があった。</p> <p>学外参加者からは、各教員の授業実践が具体的で参考になったこと、自大学のデータサイエンス教育に取り入れたいこと、シラバスの範囲内で試行したい手法があったことなどの意見が寄せられた。これらの意見は、「全学 AI 教育推進会議（専門部会）」において共有・審議され、学外の視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見として整理したうえで、今後の「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の教育改善につなげている。この取り組みは、これまでの「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の実践を整理・総括し、今後の改善につなげる観点からも意義あるものであった。</p>
8. 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	<p>授業において、実際に ChatGPT や画像生成 AI を使用することにより、学生の興味を喚起するとともに、「学ぶ楽しさ」を理解させる。また、こうした AI が実際に企業において利用されていることを教えて、この技術が社会に役立つことを理解させて、「学ぶことの意義」をも理解させる。</p>
9. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	<p>「全学 AI 教育推進会議（専門部会）」において教育プログラムの改善の検討を行い、LMS である OGU-Caddie や動画を活用することで、授業のハイブリッド化を積極的に推進し、学生の注意を効果的に惹きつける。</p>

以上

付表 1 AI 活用入門履修者数

	2025 年	2024 年	2023 年
A I 活用入門 A201	89	50	80
A I 活用入門 A202	45	109	—
A I 活用入門 A203	48	143	—
小 計	182	302	80
A I 活用入門 B201	79	135	121
A I 活用入門 B202	45	101	—
A I 活用入門 B203	45	119	—
小 計	169	355	121
A I 入門演習	6	0	4
総 計	357	657	205
プログラム履修者数	147	232	17
プログラム履修率	70.00%	54.59%	9.04%
プログラム修了者数	98	146	16
修了率	66.67%	62.93%	94.11%

※1. プログラム履修者数は、当該年度に「AI 活用入門 A」および「AI 活用入門 B」の両方を履修した学生数を示す。

※2. 修了率は、プログラム履修者数を分母、当該年度の修了証発行者数を分子として算出した。

※3. 本プログラムは年度をまたいで修了する学生がいるため、年度ごとの修了率は参考値として扱う。

付表 2 2025 年度 AI 活用入門科目成績一覧

	AI 活用入門 A 201	AI 活用入門 A 202	AI 活用入門 A 203	計
S	28	9	8	45
A	20	12	11	43
B	15	10	7	32
C	8	2	5	15
D	18	3	1	22
E	0	9	16	25
合計	89	45	48	182
合格率	79.8%	73.3%	64.6%	74.2%

	AI 活用入門 B 201	AI 活用入門 B 202	AI 活用入門 B 203	計
S	23	9	5	37
A	14	11	9	34
B	19	7	11	37
C	12	5	3	20
D	2	2	2	6
E	9	11	15	35
合計	79	45	45	169
合格率	86.1%	71.1%	62.2%	75.7%

付表3 授業評価アンケート

授業評価アンケート

科目名： AI活用入門A201
 担当教員名： 白川 雄三

受講者数： 89名
 回答者数： 15名

回答者の学部・学科 商 1名 経営 5名 ホスピ 0名 経済 7名 法 0名 外国語 1名 国際 1名
 情報 0名 短大 0名 単位取得時 0名 単位取得中 0名

回答者の学年 1年 7名 2年 2名 3年 4名 4年 2名 5年以上 0名

表1.設問1～11の回答者数と平均値

(単位:人)

	1 強く 思う	2 そう 思う	3 どちら でもない	4 そう 思わ ない	5 全く 思わ ない	無 回 答	平 均 値
設問1 満足度	4	10	1	0	0	0	4.2
設問2 授業への興味	5	9	1	0	0	0	4.3
設問3 到達度	3	12	0	0	0	0	4.2
設問4 担当教	5	8	2	0	0	0	4.2
設問5 理解度確認	3	7	5	0	0	0	3.9
設問6 話し方	4	7	4	0	0	0	4.0
設問7 板書	3	10	2	0	0	0	4.1
設問8 コミュニケーション	3	7	5	0	0	0	3.9
設問9 自由記述	4	7	4	0	0	0	4.0
設問10 シラバスに沿っていた	4	10	1	0	0	0	4.2
設問11 授業外学習	4	8	2	1	0	0	4.0

表2.表1に基づく平均値レーダーチャート

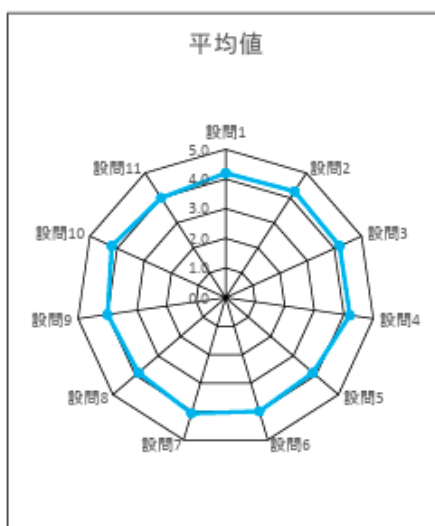


表2.設問12～17の回答者数と回答割合

	1 の 回 答 者	2 の 回 答 者	3 の 回 答 者	4 の 回 答 者	5 の 回 答 者	無 回 答
設問12 速度	0 (0)	1 (7)	14 (93)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
設問13 内容量	0 (0)	0 (0)	13 (87)	2 (13)	0 (0)	0 (0)
設問14 軽易度	0 (0)	2 (13)	10 (67)	3 (20)	0 (0)	0 (0)
設問15 シラバス参考項目	10 (67)	5 (33)	5 (33)	3 (20)	4 (27)	0 (0)
設問16 出席率	7 (47)	7 (47)	1 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
設問17 予習・復習	0 (0)	1 (7)	5 (33)	4 (27)	5 (33)	0 (0)

注1 括弧なし数値は回答者数(単位:人)、括弧内の数値は回答割合(単位:%)を示す。
 注2 回答割合については、小数点以下を四捨五入しているため、回答割合の合計が100%にならない場合がある。
 注3 設問15については、複数回答可能なため、回答割合の合計が100%にならない場合がある。

授業評価アンケート

科目名: AI活用入門B201
 担当教員名: 白川 雄三

受講者数: 79名
 回答者数: 15名

回答者の学部・学科 商 4名 経産 4名 ホスピ 0名 経済 2名 法 0名 外国語 3名 国際 1名
 情報 1名 短大 0名 ■は回答者数 0名 ■は回答者数 0名
 回答者の学年 1年 11名 2年 2名 3年 2名 4年 0名 5年以上 0名

表1.設問1～11の回答者数と平均値

(単位:人)

	1 強く 思う	2 そう 思う	3 どちら でもない	4 そう 思わない	5 全く そう 思わない	無 回 答	平均 値
設問1 満足度	8	6	1	0	0	0	4.5
設問2 授業への興味	6	7	2	0	0	0	4.3
設問3 到達度	6	8	1	0	0	0	4.3
設問4 担当教	6	8	1	0	0	0	4.3
設問5 理解度確認	5	10	0	0	0	0	4.3
設問6 話し方	4	10	1	0	0	0	4.2
設問7 板書	6	7	2	0	0	0	4.3
設問8 コミュニケーション	5	7	3	0	0	0	4.1
設問9 自由記述	4	10	1	0	0	0	4.2
設問10 シラバスに沿っていた	9	6	0	0	0	0	4.6
設問11 授業外学習	5	9	1	0	0	0	4.3

表2. 表1に基づく平均値レーダーチャート

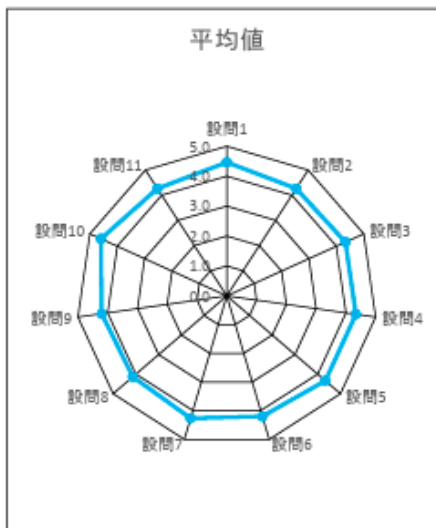


表2 設問12～17の回答者数と回答割合

		1 の 回 答 者	2 の 回 答 者	3 の 回 答 者	4 の 回 答 者	5 の 回 答 者	無 回 答
設問12 速度		0 (0)	1 (7)	14 (93)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
設問13 内容量		0 (0)	1 (7)	13 (87)	1 (7)	0 (0)	0 (0)
設問14 難易度		0 (0)	0 (0)	13 (87)	2 (13)	0 (0)	0 (0)
設問15 シラバス参考項目		7 (47)	5 (33)	3 (20)	5 (33)	11 (73)	0 (0)
設問16 出席率		3 (20)	8 (53)	3 (20)	0 (0)	1 (7)	0 (0)
設問17 予習・復習		0 (0)	0 (0)	1 (7)	7 (47)	7 (47)	0 (0)

注1 括弧なし数値は回答者数(単位:人)、括弧内の数値は回答割合(単位:%)を示す。
 注2 回答割合については、小数点以下を四捨五入しているため、回答割合の合計が100%にならない場合がある。
 注3 設問15については、複数回答可能なため、回答割合の合計が100%にならない場合がある。

付表 4 アンケート結果

・あなたは、「AI 活用入門 A」を後輩や他の学生に勧めたいと思いますか？

	AI 活用入門 A 201	AI 活用入門 A 202	AI 活用入門 A 203	計	%
大変そう思う	30	5	6	41	32.28
ややそう思う	26	17	12	55	43.31
どちらでもない	7	8	12	27	21.26
あまりそう思わない	0	3	1	4	3.15
全くそう思わない	0	0	0	0	0
回答なし	0	0	0	0	0
合計	63	33	31	127	100.00

・あなたは、「AI 活用入門 B」を後輩や他の学生に勧めたいと思いますか？

	AI 活用入門 B 201	AI 活用入門 B 202	AI 活用入門 B 203	計	%
大変そう思う	16	6	5	27	30.00
ややそう思う	16	20	11	47	52.22
どちらでもない	4	6	6	16	17.78
あまりそう思わない	0	0	0	0	0
全くそう思わない	0	0	0	0	0
回答なし	0	0	0	0	0
合計	36	32	22	90	100.00

付表 5 「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」修了証発行者数

令和 5 (2023) 年度発行者

	C	BA	HA	E	J	FE	K	S	A	計
2023	2(1)	3(0)	0(0)	11(3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	16(4)

※1: () 内は女子の数で内数。

令和 6 (2024) 年度発行者

	C	BA	HA	E	J	FE	K	S	A※2	計
2023	4(4)	3(1)	0(0)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)	12(1)	0(0)	26(6)
2024	22(7)	19(3)	0(0)	43(4)	1(1)	5(4)	0(0)	29(6)	1(1)	120(26)
計	26(11)	22(4)	0(0)	46(4)	3(1)	7(4)	0(0)	41(7)	1(1)	146(32)

※1: () 内は女子の数で内数。

※2: 単位互換により修得。

令和 7 (2025) 年度発行者

	C	BA	HA	E	J	FE	K	S	A	計
2023	1(0)	4(0)	0(0)	3(1)	0(0)	3(1)	0(0)	2(0)	0(0)	13(2)
2024	7(5)	12(6)	1(1)	5(0)	1(0)	2(1)	0(0)	9(0)	0(0)	37(13)
2025	6(0)	15(6)	0(0)	16(1)	1(0)	6(2)	1(1)	3(0)	0(0)	48(10)
計	14(5)	31(12)	1(1)	24(2)	2(0)	11(4)	1(1)	14(0)	0(0)	98(25)

※1: () 内は女子の数で内数。